

構 造 細 目 共 通 図（複合構造物）

< 平成30年版 >

※本図等は（一社）全国下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。...  
...使用にあたっては、本協会への使用料の取扱いと、配布番号の記載が必要である。...  
...、特許有下の【特許番号】と【記号番号】の記載が無い図等は無効とする。...

1 特記事項

1. 1 適用範囲

- （１）本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の複合構造物に適用する。
- （２）土木工事と建築工事の区分は図面による。
- （３）図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

土木工事	1）土木工事特記仕様書	全国上下水道コンサルタント協会	（別紙による。）
	2）土木工事共通仕様書	国土交通省・地方整備局	（平成 年版）
	3）コンクリート標準示方書・施工編	土木学会	（ 2017年版 ）
	4）コンクリート標準示方書・設計編	土木学会	（ 2017年版 ）
建築工事	1）建築工事特記仕様書		（別紙による。）
	2）建築工事一般仕様書		（平成 27 年版）
	3）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）	国土交通省大臣官庁官庁宮繕部	（平成 28 年版）

- （４）項目は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、共に適用する。

1. 2 鉄筋の仕様

鉄筋の種類及び継手は1. 2. 1表による。

	種 別	種	
		土 木	建 築
鉄筋の種類	SD 295A		※ D16以下
	※ SD345 ・ SD390 ・ SD490	※ D13以上	
	SD345		※ D19以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外	
	ガス圧接	※ D19以上の柱、梁主筋 ※ D16以上の増設端の床、壁鉄筋	※ D19以上、D29以下の柱、梁主筋
	機械式継手	・ 図面による。	

1. 3 コンクリートの仕様

コンクリートは1. 3. 1表による。

		1. 3. 1表 コンクリートの仕様			
分 類		コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	セメントの種類
土木	鉄筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 24 ・ 30	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント
		※ 普通コンクリート	※ 24 ・	※ 18 ・	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB
建築	鉄筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 24 ・	※ 15 ・	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB
		※ 普通コンクリート	※ 24 ・	※ 15 ・	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB
土木	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 18 ・	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント
		※ 普通コンクリート	※ 18 ・	※ 15 ・	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB
建築	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 18 ・	※ 15 ・	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB
		※ 普通コンクリート	※ 18 ・	※ 15 ・	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB

注1：無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。

1. 4 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート

砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは1. 4. 1表による。

1. 4. 1表 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様

部 位	種 別	厚さ (mm)
土 木 工 事	砕石または砕石	※ 200
	均しコンクリート	※ 100
建 築 工 事	砕石または砕石	※ 60
	捨てコンクリート	※ 50

2 共通事項

2. 1 記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2. 1. 1表及び2. 1. 2表を標準とする。

2. 1. 1表 鉄筋の断面表示

区分	種	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建 築	●	×	×	×	●	○	○	×	○
土 木					●				

●又は建築による。

2. 1. 2表 一般凡例

記・号・符・号	内 容	※印の説明及び注意事項
F※	フーチング断面種別	※ 番号
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1. 2. 3- - - Y方向A. B. C- - -
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1W※2	壁配筋種別	※1 E：耐震壁、K：階段壁 D：土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※2 壁厚 (cm)
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚 (cm) ※3 配筋種別 (英大文字) 階別区分はしない
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A：片持床版形 B：二辺固定床版形 ※2 配筋種別 (数字) 階別区分はしない
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚 (cm)
	打ち増し範囲	
	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの+、-に 応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値 (kN/m <sup>2</sup> )
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S-HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組立て筋	床版、底版

（用語の定義）

- ・床版とは、常時荷重及び地震時荷重を負担する主部材をいう。壁式構造のボックスカルバートやラーメン構造の頂版や底版がある。
- ・スラブとは、常時荷重のみを負担する梁に支持される副部材をいう。

2. 2 一般注意事項

- （１）設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。
- 変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

3 土木工事

3. 1 鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、3. 1. 1表及び3. 1. 2表を標準とする。

（１）Dは、折曲げ内法直径を示す。

（２）dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

3. 1. 1表 鉄筋曲げ加工（１）

位 置	曲げ 角度	折曲げ図及び 折曲げ後の余長	曲げ内法 直径	使 用 箇 所	
末端部	180°		5d以上	定着末端部	
	135°		5d以上	スターラップ、 帯鉄筋、 フープ筋 等	
	90°		5d以上		
	90° 135°		5d以上	梁	幅止め鉄筋
	90°				
	90°		5d以上	床版 底版	
中間部	90°		5d以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋	
	θ<90°		10d以上	折曲げ鉄筋	

3. 1. 2表 鉄筋曲げ加工（２）

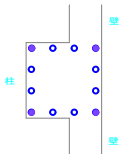
位 置	曲げ 角度	折曲げ図	曲げ内法 直径	使 用 箇 所
最上階	90°		20d以上	ラーメン隅角部
一般階	90°		5d以上	

3. 2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、3. 2. 1表によりフックを設ける。

3. 2. 1表 フックを設ける位置

部 位		継手方式		備 考
		重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	—	1）最上階の柱頭	3.2.1 図の●印 3.8.1 図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	—	1）下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部	3.2.1 図の●印 3.8.2 図参照
	帯筋(HOOP)	1）末端部 2）継手部	1）末端部	3.9.1 図参照
梁	あばら筋(STP)	1）末端部 2）継手部	1）末端部	3.12.1 図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底版筋	1）末端部 2）継手部	1）末端部	3.25.1 図参照
煙突の鉄筋		1）末端部 2）継手部	1）末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋		—	—	3.1.1 表参照



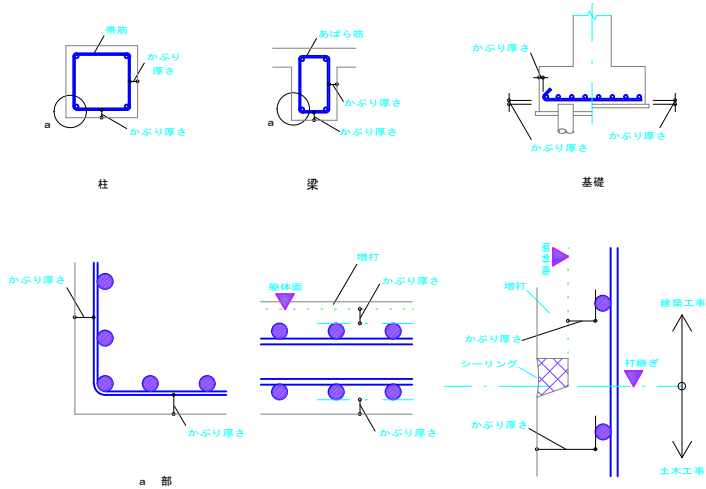
3. 2. 1図 異形鉄筋の末端部

3. 3 鉄筋のかぶり及び間隔

3. 3. 1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋を除く）の外面から躯体面までの距離（3. 3. 1図）をいう。

鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



3. 3. 1図 鉄筋のかぶり厚さ

3. 3. 2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、3. 3. 1表による。

床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。

3. 3. 1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

※ 通常の施工の場合

埋 地	部 位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
大気中		50	50	—
水中・土中等		50	70	70

・ 塩害対策地域の施工の場合

対策区分	埋地	部 位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
・ ①	大気中		70	70	—
	水中・土中等		70	70	70
・ ②③	大気中		50	70	—
	水中・土中等		50	70	70

1：部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。

2：杭基礎の底版・フーチング下端筋のかぶり厚さは、7. 杭基礎の補強を参照する。

〔注〕梁、大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。

事業名		南魚沼市上水道事業					
工事名		令和2年度 改良第7号 上田配水池建設工事					
施工地名		南魚沼市 蟹沢新田 地内					
構造細目共通図（複合構造物）（1）				縮 尺		図 示	
図面番号		工期	着手日		令和	年	月 日
第45/61号			竣工日		令和	年	月 日
発注者	南 魚 沼 市 長		監督員  (記号)	総括 水道課 上村 栄二 主任 水道課 上村 優			
	請負者						